

北陸地方建設事業推進協議会

令和元年度

# 建設技術報告会

## 実施報告書

令和2年1月

北陸地方建設事業推進協議会  
「建設技術報告会」実行委員会

# 目次

1. 開催概要	
1) 目的	1
2) 開催日時	1
3) 開催場所	1
4) 構成と報告時間	3
5) 主催構成機関及び実行委員会構成員	4
6) 聴講者数及び聴講者数の推移	5
2. 実施内容	
1) 開会式	6
2) 報告技術	6
3) 基調講演	8
4) 技術パネル等展示コーナー	8
5) NETIS 等パンフレット紹介コーナー	8
6) CPD/CPDS 認定プログラム	9
7) 閉会式	10
3. 準備及び運営・設営	
1) スケジュール	11
2) 主な経緯	11
3) 運営体制	12
4) 会場設営	12
4. 広報	
1) 広報活動	15
2) 広報等掲載一覧	15
5. 同時開催イベント	
けんせつフェア北陸 in 富山 2019	18
6. アンケート	
1) 設問内容	19
2) 配布・回収	19
3) アンケート結果概要	20
4) 設問別集計結果	22

# 1. 開催概要

## 1) 目的

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催しました。

平成7年度から開催されている本報告会は、今回で24回目の開催となりました。

## 2) 開催日時

本報告会は、令和元年10月2日、3日の2日間開催しました。

### ■令和元年10月2日(水) 10時40分～16時20分

#### ●東館 大展示場

受付 10時00分～10時40分

開会式 10時40分～10時50分

開会挨拶：北陸地方整備局企画部長 内藤 正彦

基調講演 10時50分～11時50分

演題：「宇宙からのインフラ調査点検」

講師：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

第一宇宙技術部門 技術領域主幹 富井 直弥氏

報告技術 13時00分～16時20分

### ■令和元年10月3日(木) 9時40分～15時05分

#### ●東館 大展示場

受付 9時00分～9時40分

報告技術 9時40分～14時15分

技術報告 14時25分～14時55分

閉会式 14時55分～15時05分

総評・閉会挨拶：令和元年度「建設技術報告会」実行委員長 村下 剛

(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

## 3) 開催場所

### ■施設名

富山産業展示館(テクノホール)

住所：〒939-8224 富山県富山市友杉1682

TEL：076-461-3111

URL：<http://technohall.or.jp/>

### ■使用会場

東館 大展示場(1/3)及び2階の東館商談室3を使用する。

#### ●東館 大展示場

・報告会場(開会式→基調講演→報告技術→技術報告→閉会式)

・事務局・スタッフ控室

・技術パネル等展示コーナー、NETIS等パンフレット配布コーナー 他

#### ●東館商談室3

・講師・来賓控室

### ■アクセス

富山駅から富山産業展示館(テクノホール)まで約9km

⇒富山地鉄バス

J R富山駅前地鉄バス6番のりば

【総合運動公園線】 産業展示館前下車 または 産業展示館口下車 徒歩5分

【八尾鏡町(成子経由)線】 産業展示館口下車 徒歩5分

【富山空港直行便】 富山空港下車 徒歩10分

⇒タクシー利用:

J R富山駅から約15分

⇒自動車利用:

北陸自動車道 富山ICより約5分

⇒富山きときと空港利用:

富山きときと空港より徒歩10分、車で3分

■駐車場

施設駐車場: 約400台

駐車料金: 無料



## 4) 構成と報告時間

■開会式及び閉会式は10分とした。

■基調講演は1時間とした。

■報告技術

下表の6つの報告テーマに集約し、2日間で25技術の報告を行ったほか、(一社)日本建設機械施工協会により最新技術の技術報告を行った。

25技術をI~VIグループに分け、1グループあたり4技術または5技術の報告を行った。

1技術の報告時間は15分(入替及び質疑応答時間含む)とし、1技術の報告終了毎に概ね2分間の質疑・応答時間を設けた。

報告テーマ / 工事種別	河川	道路	砂防	港湾	共通		計
① 「良いものを安く(i-Construction)」		3		1	1	5	10
② 「社会資本の的確な維持管理・更新」		4				1	5
③ 「雪に強い地域づくり」		3					3
④ 「自然災害からの安全確保」						1	1
⑤ 「環境の保全と創造」	1		1				2
⑥ 「その他」		1		1		2	4
計	1	11	1	2	1	9	25
	2日目	1日目	2日目	2日目	1日目	2日目	

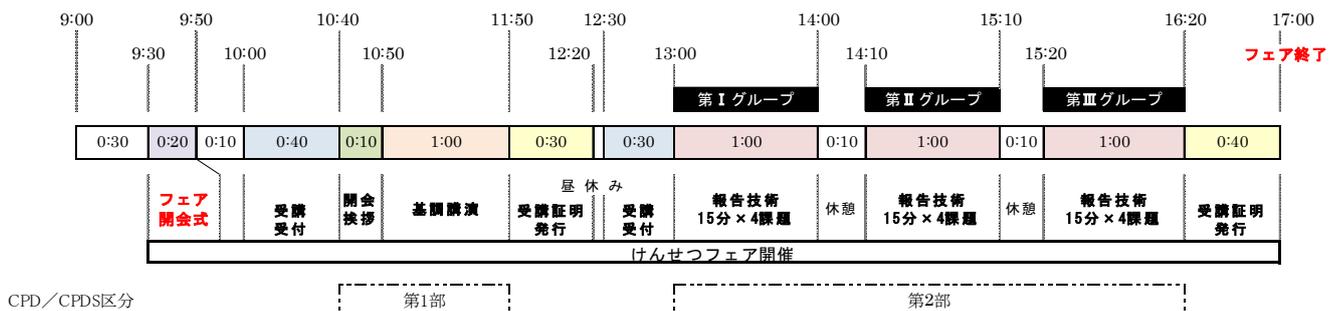
■その他

CPD/CPDSの受講は、第1部~第4部毎の単位とし、その単位ごとに受講受付及び受講証明書の発行を行った。

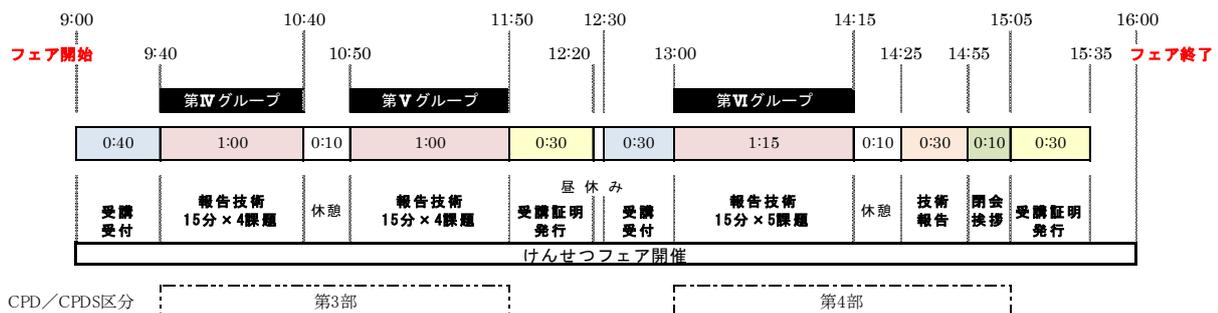
10月2日(水) 報告技術:12技術(1技術×15分 質疑・応答含む)、基調講演:60分、昼休み:70分、休憩:10分×2回  
 10月3日(木) 報告技術:13技術(1技術×15分 質疑・応答含む)、技術報告:30分、昼休み:70分、休憩:10分×2回

■報告会場:東館 大展示場

【令和元年10月2日(水)】



【令和元年10月3日(木)】



## 5) 主催構成機関及び実行委員会構成員

### ■主催構成機関

主催は、『北陸地方建設事業推進協議会 令和元年度「建設技術報告会」実行委員会』である。  
以下に実行委員会の構成機関（23機関）を示す。

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／  
中日本高速道路(株)金沢支社／(一社)日本建設業連合会北陸支部／  
(一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)新潟県建設業協会／(一社)富山県建設業協会／  
(一社)石川県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／  
(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会／  
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／  
(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター／北陸地質調査業協会／  
(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

### ■実行委員会構成員

役員	所属	役職	備考
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	
副委員長	北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所	事務所長	
委員	北陸地方整備局 企画部 施工企画課	課長	
委員	北陸地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課	課長	
委員	新潟県 土木部 技術管理課	工事検査室長	会計監査
委員	富山県 土木部 建設技術企画課	副主幹 技術指導係長	
委員	石川県 土木部 監理課 技術管理室	課参事	
委員	新潟市 都市政策部 技術管理課	課長	
委員	東日本高速道路(株)新潟支社 技術部 技術企画課	課長代理	
委員	中日本高速道路(株)金沢支社 環境・技術管理部 環境・技術課	課長代理	
委員	(一社)日本建設業連合会 北陸支部	契約積算・技術副委員長	
委員	(一社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	
委員	(一社)新潟県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)富山県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)石川県建設業協会	常務理事	
委員	(一社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	
委員	(一社)日本建設機械施工協会 北陸支部	普及部会担当委員	
委員	北陸土木コンクリート製品技術協会	運営委員長	
委員	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	事務局長	
委員	北陸PC防雪技術協会	事務局長	
委員	(一社)新潟県融雪技術協会	技術委員長	
委員	(一財)新潟県建設技術センター	情報管理部長	
委員	北陸地質調査業協会	事務局長	
委員	(一社)日本埋立浚渫協会 北陸支部	技術委員長	
委員	(一社)北陸地域づくり協会	企画事業部長	
委員	(一社)日本橋梁建設協会 北陸事務所	所長	

## 6) 聴講者数及び聴講者数の推移

### ■聴講者数

聴講募集を8月5日から9月13日まで行ったが、目標に達しなかったため9月24日まで延長し追加募集を実施した結果、2日間延べ764名の聴講者が参加した。本年度の聴講申込人数及び聴講実績人数は下表のとおりである。

【令和元年度「建設技術報告会」 聴講者集計表】

機関・団体名		申込	実績
来賓		—	2
官公庁	国交省、各県、新潟市、各市町村他	175	246
民間		363	491
発表者(官公庁)		7	7
発表者(民間)		18	18
報道			
合計		563	764

### ■聴講者数の推移

【「建設技術報告会」聴講者数（第1回～第23回）】

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
年度	1995年	1996年	1997年	1998年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
開催地	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	新潟市	金沢市
国土交通省等	39	68	112	94	100	89	72	72	80	105
自治体	39	202	116	129	69	86	87	50	31	34
民間(協会等)	189	373	430	209	364	401	471	354	360	319
学校						3		35	7	
合計	267	643	658	432	533	579	630	511	478	458
回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
開催地	新潟市	新潟市	新潟市	新潟市	富山市	新潟市	金沢市	新潟市	富山市	新潟市
国土交通省等	45	47	33	47	43	67	65	60	70	50
自治体	18	29	24	23	49	24	100	93	77	33
民間(協会等)	278	302	404	343	459	411	336	418	293	441
学校										
合計	341	378	461	413	551	502	501	571	440	524
回	第21回	第22回	第23回							
年度	2016年	2017年	2018年							
開催地	金沢市	新潟市	金沢市							
国土交通省等	35	43	117							
自治体	81	40								
民間(協会等)	341	373	277							
学校										
合計	457	456	394							

## 2. 実施内容

### 1) 開会式

日 時：令和元年10月2日

10時40分～10時50分

会 場：東館大展示場

開会挨拶：北陸地方整備局 企画部長 内藤 正彦

司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 淳一



### 2) 報告技術

報告技術の募集は令和元年6月15日（月）～令和元年7月17日（水）まで行い、応募のあった25課題すべてを報告した。

第Ⅰ～第Ⅲグループ 計12技術

時 間：令和元年10月2日13時～16時20分

司 会：(一社)日本建設業連合会 北陸支部（清水建設(株)北陸支店）小川 晃市氏

第Ⅳ～第Ⅴグループ 計8技術

時 間：令和元年10月3日9時40分～11時50分

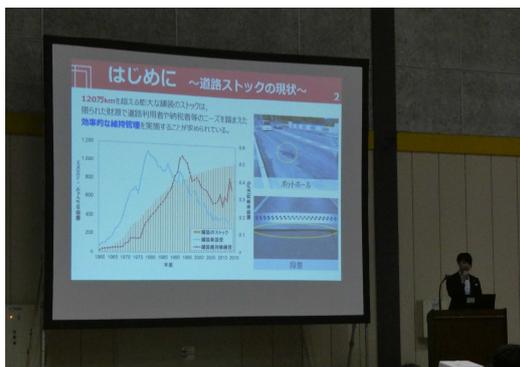
司 会：富山県 土木部 横田 弘一氏

第Ⅵグループ 5技術、技術報告 1技術

時 間：令和元年10月3日13時～14時55分

司 会：北陸地方整備局 企画部 元平 幸成氏

会 場：東館大展示場



技術報告の発表状況



技術報告の聴講状況



技術報告の司会進行状況



技術報告の質問状況

【報告技術一覧表】

報告技術

発表グループ	テーマ番号	技術名	発表者氏名	会社（機関）名
I	②	多用途に適用可能な高耐久型常温補修材	尾崎 風香	鹿島道路株式会社
	②	全天候型高耐久常温アスファルト合材（楽ファルト）の開発	上地 俊孝	大林道路株式会社
	②	より高品質な維持修繕技術の開発	関 伸明	世紀東急工業株式会社
	②	プレキャストコンクリート版を採用したトンネルインバートの製造・施工報告	青木 裕	日本サミコン株式会社
II	⑥	富山駅付近連続立体交差事業について ～あいの風とやま鉄道線富山駅全線高架化～	竹田 勝博	富山県
	③	音響付加型凍結抑制舗装工法メロディウエイ（ザベックタイプ）の開発	板東 芳博	世紀東急工業株式会社
	③	ICT活用による除雪機械の情報化施工技術開発	山田 拓	国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所
	③	ヒートポンプレス下水熱融雪システムに関する実証研究	小酒 敏弥	株式会社興和
III	①	倶利伽羅防災トンネルにおけるCIMの活用検討	大橋 由紀子	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所
	①	トンネル鋼製支保工建込みロボット	水谷 和彦	前田建設工業株式会社
	①	IoTを活用した新しい山岳トンネル施工管理手法	小島 英郷	清水建設株式会社
	①	山岳トンネル工事の安全および効率的な施工を支援する新技術	谷 卓也	大成建設株式会社
IV	⑤	DNA解析技術・撮影技術の導入による生物調査の高度化・効率化の取り組み	中川 雅允	国土交通省 北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所
	⑤	水底土砂ポンプ浚渫工法	吉原 到	あおみ建設株式会社
	②	ベルリブレイス工法における公開実証実験の報告	大瀬 弘樹	真柄建設株式会社
	④	CI-CMC-HA工法	田口 雄一	株式会社不動テトラ
V	⑥	土木新製品開発支援事業の取組みについて	開井 宏光	富山県
	⑥	法面工向け体験型VR安全教育システム	太刀川 翼	株式会社興和
	⑥	水理模型実験による防波堤反射波低減構造の検証	豊島 愛莉	国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾空港技術調査事務所
	①	ケーソン無人化据付支援システム	土屋 洋	若築建設株式会社
VI	①	低セメント量の高流動コンクリート「ニューロクリートNeo」	桜井 邦昭	株式会社大林組
	①	重機搭載レーザー計測システム	渋谷 光男	株式会社フジタ
	①	地盤改良工法のデジタル化・見える化技術 薬液注入『Grout Conductor』	恵良 桂司	日特建設株式会社
	①	航行支援システム「ARナビ」	西方 舟	東亜建設工業株式会社
	①	MCツインヘッダによる軟岩・中硬岩の法面整形について	岩間 亮友	国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

技術報告

技術名	発表者氏名	会社（機関）名
ICT現場の現状と今後の展望	小野寺 昭則	一般社団法人日本建設機械施工技術協会北陸支部 （コマツ スマートコンストラクション推進本部 副本部長兼国内販売本部 副本部長）

- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| ① 良いものを安く（i-Construction）（10題） | ② 社会資本の的確な維持管理・更新（5題） |
| ③ 雪に強い地域づくり（3題）                | ④ 自然災害からの安全確保（1題）     |
| ⑤ 環境の保全と創造（2題）                 | ⑥ その他（4題）             |

### 3) 基調講演

時 間：令和元年10月2日10時50分～11時50分  
 会 場：東館大展示場  
 演 題：宇宙からのインフラ調査点検  
 講 演 者：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門  
 技術領域主幹 富井 直弥氏  
 司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 淳一



富井 直弥 氏



基調講演の聴講状況

### 4) 技術パネル等展示コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、展示希望を募り12社の新技術パネル展示を実施した。

展示時間：令和元年10月2日9時00分～17時00分

令和元年10月3日9時00分～15時05分

会 場：東館大展示場

#### 【技術パネル等展示一覧表】

出展技術	出展者	出展技術	出展者
トンネル鋼製支保工建込みロボット	前田建設工業株式会社	ファルコン	鹿島道路株式会社
重機搭載レーザー計測システム	株式会社フジタ	通年型交通安全対策舗装 メロディウェイ(ザバックタイプ)	世紀東急工業株式会社
IoTを活用した新しい山岳トンネルの安全管理手法	清水建設株式会社	全天候型高耐久常温アスファルト合材「楽ファルト」	大林道路株式会社
低セメント量の高流動コンクリート「ニューロクリートNeo」	株式会社大林組	老朽化した鋼矢板水路の補修・補強工法『ストパネ工法』	株式会社水倉組
トンネル全断面点検・診断システム「iTOREL」	東急建設株式会社	下水汚泥焼却灰のアスファルトファイバー化について	株式会社金沢舗道
フル・ファンクション・ペーパー(FFP)	株式会社ガイアート	ケーソン据付の安全性・施工性向上技術	株式会社本間組



## 5) NETIS 等パンフレット配布コーナー

主催機関の傘下会社で開発された新技術・新工法などを対象に、下記の国、自治体による新技術登録制度に登録された技術を対象として、配布希望を募り6技術のパンフレット配布を行った。

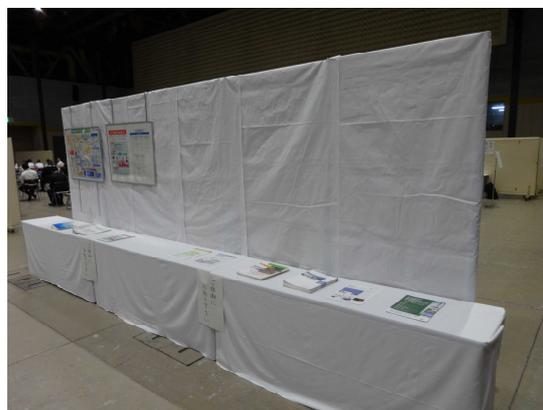
展示時間：令和元年10月2日9時00分～17時00分

令和元年10月3日9時00分～15時05分

会場：東館大展示場

【NETIS 等パンフレット一覧表】

技術名	出展者
KC-G工法(アーバンカラータイル)	世紀東急工業株式会社
Visios-3D	株式会社不動テトラ
テトラネオ	株式会社不動テトラ
CI-CMC-HA工法	株式会社不動テトラ
水中三次元座標測量システム	株式会社本間組
クレーン作業安全誘導システム	株式会社本間組



## 6) CPD/CPDS認定プログラム

社会資本整備に携わる建設技術者の技術力向上の場として、本報告会を積極的に活用していただくことを目的に平成20年度からとりくみを開始し、今年度も一般社団法人建設コンサルタント協会による「CPD(継続教育)8.07単位」プログラム及び一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会による「CPDS(継続学習制度)8ユニット」の認定講習の登録を行い、306名に受講証明の交付を行った。交付数は聴講者全体の40.1%(306/764)であった。※数値はいずれも2日間の延べ数。

<参考> 平成30年度 受講証明書交付数：158名・40.1%(158/394)

### CPDおよびCPDSの受付時間及び発行時間

	開催内容	開催日	聴講受付時間 (受講証明引換券発行)	聴講時間	受講証明書 発行時間	単位・ユニット数 発行人数	
						CPD	CPDS
第1部	開会式・基調講演	10/2	10:00~10:40	10:40~ 11:50	11:50~ 12:20	1.16 59	1 30
第2部	報告技術(第Iグループ ~第IIIグループ)	〃	12:30~13:00	13:00~ 16:20	16:20~ 17:00	3 59	3 31
第3部	報告技術(第IVグループ ~第Vグループ)	10/3	9:00~ 9:40	9:40~ 11:50	11:50~ 12:20	2 35	2 29
第4部	報告技術(第VIグループ) ・技術報告・閉会式	〃	12:30~13:00	13:00~ 15:05	15:05~ 15:35	1.91 34	2 29
計						8.07 187	8 119

形態内容：1-A

印刷書発行日：2019年10月2日

(一社)建設コンサルタンツ協会 CPD認定プログラム  
**JCCA** 受講証明書・参加証明書

受講・参加者氏名	
所属会社等	
<small>※受講した「JCCA受講証明書・参加証明書」の「受講・参加者氏名」と「所属会社等」が等しい場合は、自分で記入してください。</small>	
プログラム番号	201909020016
プログラム名	令和元年度建設技術報告会(第1部)
主催者	令和元年度建設技術報告会実行委員会(事務局：国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所)
共催者	---
開催日	2019年10月2日
参加実時間	1.16
CPD単位	1.16

上記内容で、JCCA認定プログラムを受講・参加されたことを証明いたします。

「令和元年度建設技術報告会」実行委員会  
 実行委員長 村下 剛  
 (国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所)

印

CPD 受講証明書



受講証明書引換券配布状況

**受講証明書**

受講者名 又は 通し番号	
プログラム名称	令和元年度建設技術報告会(第1部) ※10/2 10:40～11:50
プログラム番号	543078
ユニット数	形態コード 101-1      1 ユニット
	合計 1 ユニット
講習日・時間	2019年10月2日 10:40～11:50
講習会場	【富山県】富山産業展示館(東館大展示場)

ユニット取得状況は(一社)全国土木施工管理技士会連合会HP(<https://www.sjcm.or.jp/>)ログイン後に確認できます。

上記の者について、講習会を受講したことを証明します。

令和元年10月 2日

主催：令和元年度建設技術報告会実行委員会  
 実行委員長 村下 剛  
 (国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所)

CPDS 受講証明書



受講証明書発行状況

## 7) 閉会式

時 間：令和元年10月3日

14時55分～15時05分

会 場：東館大展示場

総評・閉会挨拶：

「建設技術報告会」実行委員長 村下 剛  
 (北陸地方整備局 北陸技術事務所長)

司 会：北陸技術事務所 副所長 樋口 淳一



閉会挨拶の状況

# 3. 準備及び運営・設営

## 1) スケジュール

令和元年度「建設技術報告会」の運営は、下記のとおり実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 「令和元年度 建設技術報告会」運営スケジュール

	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	備考
<b>実行委員会等</b>															
北陸地方建設事業推進協議会運営委員会(運営委員会)		● 2/19(火)													
実行委員会開催(会議資料作成等)		● 1/28(月)			名簿確認・資料作成	● 6/14(金)	● 第1回実行委員会			資料作成			● 第2回実行委員会		
<b>報告技術発表及び原稿作成等</b>															
各案内用チラシ原稿作成						報告技術募集用	聴講募集用								
ホームページ開設・運営					HP作成	報告技術等募集 6/17(月)~7/9(火)	聴講募集 8/5(月)~ 10/3(木)								
報告技術募集(取りまとめ:各主催機関) 技術パネル展示募集(取りまとめ:各主催機関) NETIS等へのWeb紹介募集(取りまとめ:各主催機関)					報告技術等募集 6/17(月)~7/9(火)		※事務局提出:7/10(水)								
報告技術検討・選定							7/10(水)~7/19(金)								
採否通知送付(事務局)							7/23(火)								
報告論文原稿、概要版作成・提出(報告技術発表者)							報告論文作成 7/23(月)~8/30(金)								
プレゼンデータ作成・提出(報告技術発表者)							7/23(火)~ 9/11(水)								
聴講募集(事務局へ直接申し込む)							8/5(月)~ 9/13(金)						※最大延長:9/24(火)		
報告論文集(PDF)作成(HP掲載)							修正・報告 集約等 9/2(月)~9/17(火)						※報文集掲載:9/18(水)		
<b>その他</b>															
基調講演者依頼・報道投込み					基調講演講師選定検討・依頼								●報道関係へ投げ込み 9月30日(月)		
CPD/CPDSプログラム登録申請							● 8月7日(水)								
会場設営・準備							●スタッフ報告 8/20(火)						●前日会場準備 10/1(火)		
報告会開催													★ 10/2(水)・10/3(木)		

## 2) 主な経緯

会議名等	実施日時	会場	内容
平成29年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成30年2月21日(水)	北陸地方整備局 会議室	2019年度における「けんせつフェア」及び「建設技術報告会」の同時開催決定
けんせつフェア北陸 in 富山 2019 (仮称) 準備会会議	平成31年1月28日(火)	北陸地方整備局 共用会議室(1・2)、富山河川国道事務所 会議室	けんせつフェア北陸 in 富山 2019 幹事会との合同準備会議
平成30年度 北陸地方建設事業推進協議会運営委員会	平成31年2月19日(火)	北陸地方整備局 会議室	「建設技術報告会」の開催承認
令和年度「建設技術報告会」 第1回実行委員会	令和元年6月14日(金) 15時20分~16時50分	北陸地方整備局 共用会議室(1・2)、北陸技術事務所富山出張所防災対策室	規約(案)の協議・承認 実施計画(案)の協議・承認 予算(案)の協議・承認
令和元年度「建設技術報告会」開催	令和元年10月2日(水) 10時40分~16時20分 令和元年10月3日(木) 9時40分~15時05分	富山産業展示館 テクノホール 東館大展示場	報告会開催
令和元年度「建設技術報告会」 第2回実行委員会	令和2年1月30日(木) 15時20分~16時50分	北陸技術事務所研修所、 同所富山出張所防災対策室	実施報告 決算報告(案) 次回開催(案)

### 3) 運営体制

報告会当日は、及び主催構成機関・団体から、運営スタッフ62名（2日間延べ）の協力により実施した。また、会場設営・撤去は、北陸技術事務所で別途契約した設営会社が施工した。

#### 【機関・団体別 スタッフ配置】

1日目(10月2日)

担当・時間・会場等	スタッフ 実人数	北陸地整												富山県			富山 建協			日建連		道建協		建コン		建機協		埋没	
		12人(建設:①~⑨ 港湾:⑩~⑫)												3人			3人			2人		2人		2人		2人			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	①	②	③	①	②	③	①	②	①	②	①	②	①	②		
受付係 (聴講・受講証明 受付)	終日	1000~16:20	2																										
	AM受付	10:00~10:40	7																										
	PM受付	12:30~13:00	7																										
受講証明発行係 (CPD/CPDS)	AM発行(基調講演終了時)	11:50~12:20	5																										
	PM発行(第Ⅲグループ終了時)	16:20~17:00	5																										
技術報告	司会係	I・II・IIIグループ	13:00~16:20	1																									
	時間管理係	I・II・IIIグループ	13:00~16:20	1																									
会場照明	終日	10:00~16:20	2																										
パソコン係	終日	10:00~16:20	1																										
マイク受渡し係	技術報告時	13:00~16:20	2																										
写真係	終日	10:00~17:00	2																										
事務局	開閉式・基調講演司会係		1																										
	来賓案内		1																										
	接遇(来賓)		1																										
	マスコミ対応	適宜	3																										
	連絡調整係		2																										
	運営・設営係	会場 配置替え	開閉式 基調講演	5																									

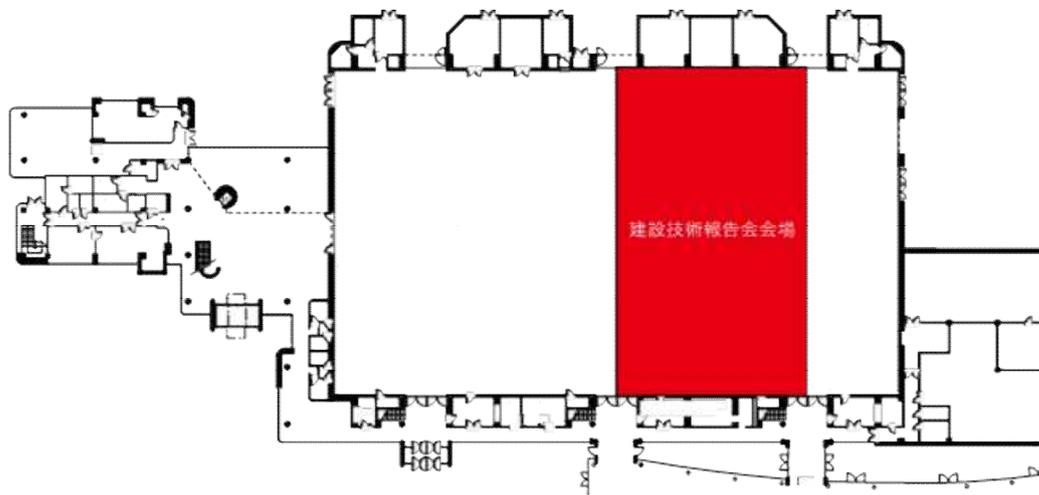
2日目(10月3日)

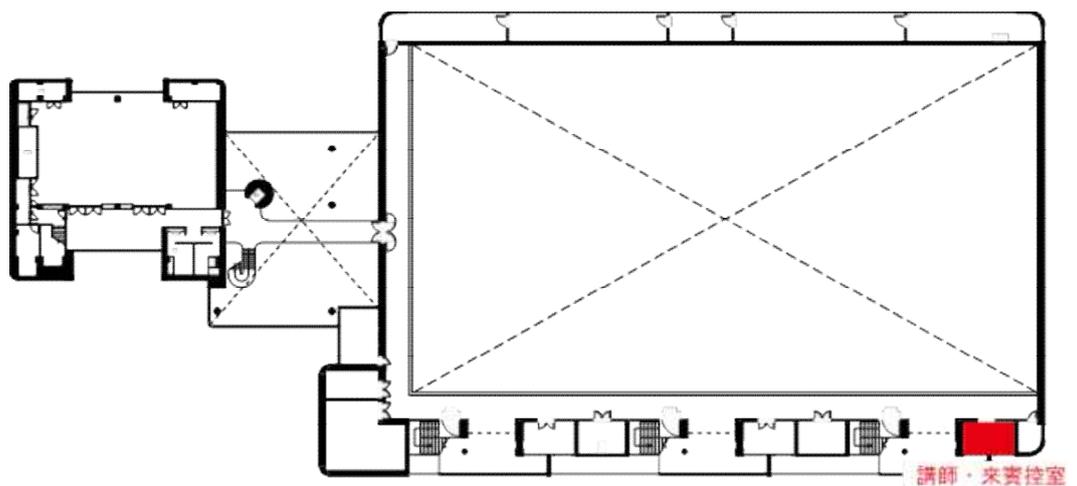
担当・時間・会場等	スタッフ 実人数	北陸地整													富山県			富山 建協			中日本 高連		北土 コン		PC 建協		北陸PC 防雪		横建協	
		13人(建設:①~⑬ 港湾:⑭~⑯)													3人			3人			2人		2人		2人		2人			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	①	②	③	①	②	③	①	②	①	②	①	②	①	②		
受付係 (聴講・受講証明 受付)	終日	9:00~15:20	2																											
	AM受付	9:00~9:40	7																											
	PM受付	12:30~13:00	7																											
受講証明発行係 (CPD/CPDS)	AM発行(第Vグループ終了時)	11:50~12:20	5																											
	PM発行(第VIIグループ終了時)	15:20~16:00	5																											
技術報告	司会係	IV・Vグループ	9:40~11:50	1																										
		VI・VIIグループ	13:00~15:20	1																										
	時間管理係	IV・Vグループ	9:40~11:50	1																										
		VI・VIIグループ	13:00~15:20	1																										
会場照明	終日	9:40~15:20	2																											
パソコン係	終日	9:40~15:20	1																											
マイク受渡し係	技術報告時	9:40~15:20	2																											
写真係	終日	9:00~16:00	2																											
事務局	閉会式司会係		1																											
	マスコミ対応	適宜	3																											
	連絡調整係		2																											
	運営・設営係	会場 配置替え	閉会式	5																										

### 4) 会場設営

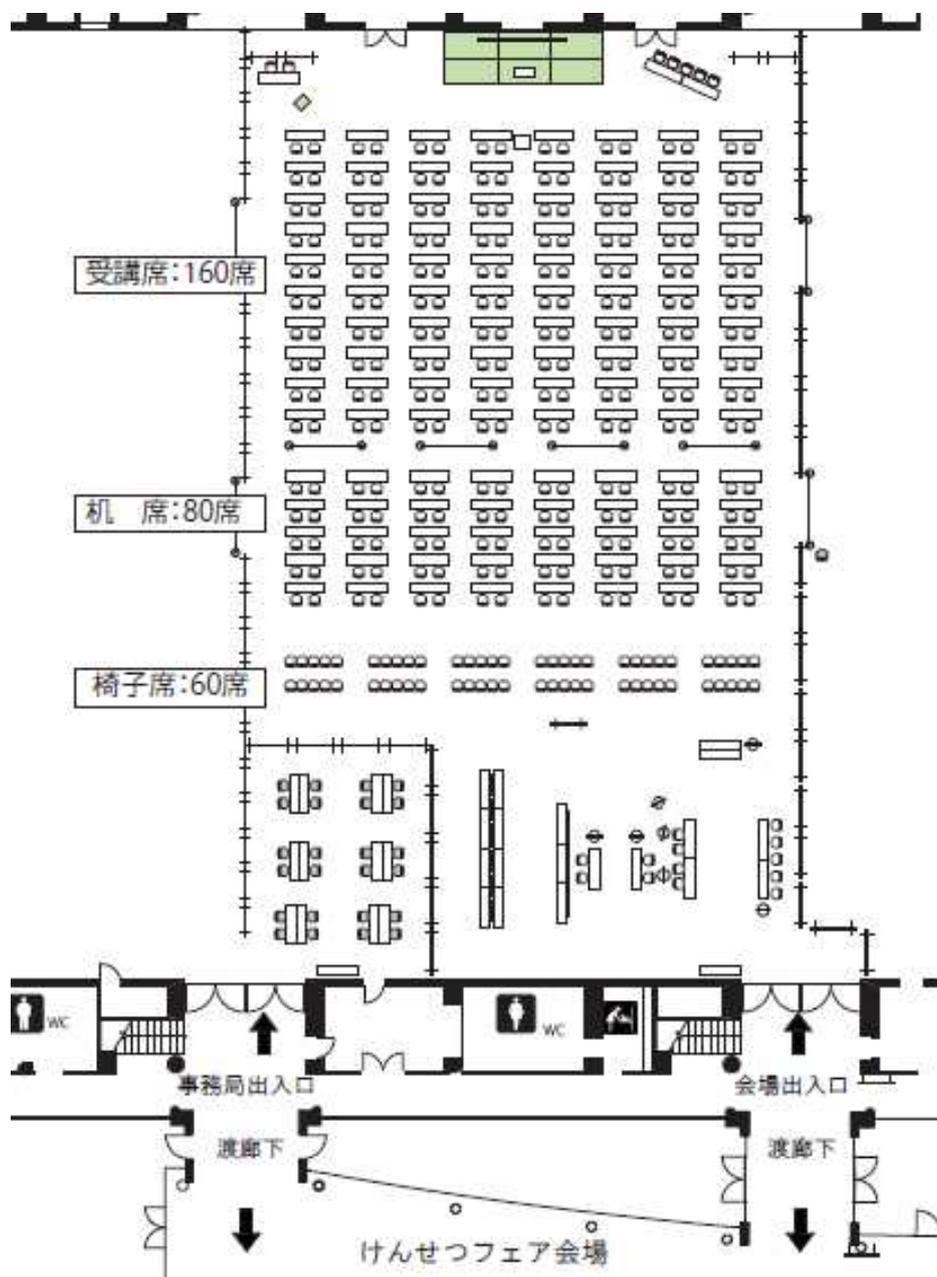
#### ■フロアマップ

1階 大展示場





■報告会会場のレイアウト図





①開催案内



②総合司会



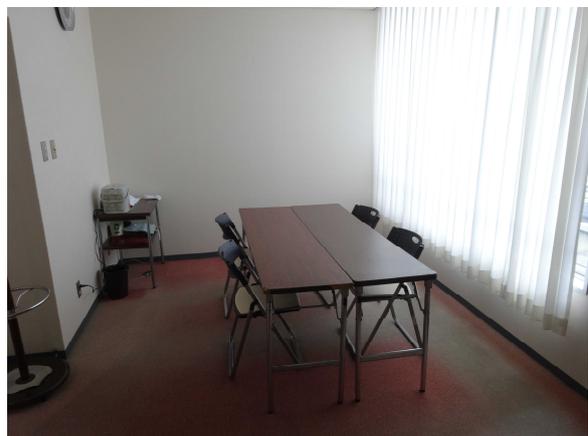
③スタッフミーティング



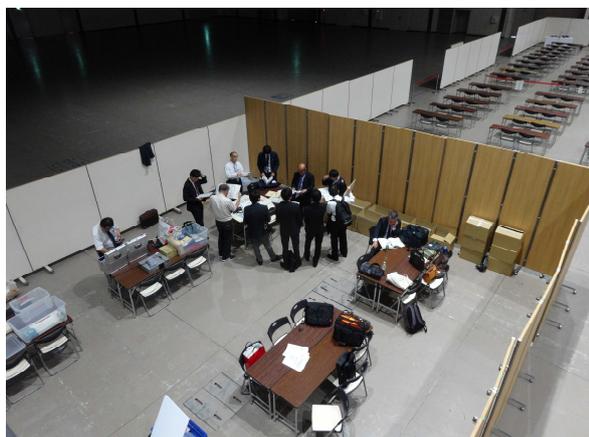
④聴講者受付状況



⑤アンケートの回収状況



⑥講師控室



⑦スタッフ控室

## 4. 広報

### 1) 広報活動

種別・内容	方法	時期	摘要
チラシ配布	配布・募集	6月17日～	主催機関・団体
		8月5日～	主催機関・団体、近隣整備局、近県、富山県内市町、学校関係他
記者クラブ	資料配付	9月30日	同時開催の「けんせつフェア」と同報
ホームページ	開設・運用	6月17日～（報告技術募集）	
		8月5日～（聴講募集） 適宜	

### 2) 広報等掲載一覧

#### ■新聞報道

掲載紙	発行機関	掲載月日
なし		

#### ■定期刊行誌

掲載紙	発行機関	掲載号
北陸の建設技術	北陸地方建設事業推進協議会	6月号（報告技術募集） 9月号（聴講募集） 1月号（開催結果）

※来年度、各団体が発行する定期刊行誌への掲載のご検討をお願いします。

#### ■ホームページ

掲載機関	掲載コンテンツ
新潟県土木部技術管理課	「トップ（バナー掲載）」
富山県土木部建設技術企画課	「トップ（バナー掲載）」
（一社）富山県建設業協会	協会ホームページにて案内
（一社）石川県建設業協会	「トップ（バナー掲載）」
（一社）日本建設機械施工協会北陸支部	「トップ（バナー掲載）」
（一社）北陸土木コンクリート製品技術協会	「トップ（バナー掲載）」
（一社）新潟県融雪技術協会	「トップ（バナー掲載）」
（一財）新潟県建設技術センター	「トップ（バナー掲載）」
（一社）北陸地域づくり協会	「お知らせ」、「トップ（バナー掲載）」
国土交通省北陸地方整備局	「トップ（バナー掲載）」
国土交通省新潟港湾空港技術調査事務所	「トップ（バナー掲載）」
国土交通省北陸技術事務所	「トップ（バナー掲載）」

※引き続きHPでの広報にご協力をお願いします。また、今回、掲載のなかった団体等も来年度はご検討をお願いします。

■記者発表

国土交通省 北陸地方整備局	配付日時 令和元年9月30日
配付資料	※ 本紙配付を以て解禁

別紙2

**富山県で初開催！「けんせつフェア北陸 in 富山2019」**  
～新技術・新工法 3.5.5 技術が北陸に集結～

「けんせつフェア北陸 in 富山2019」は、高・中・普の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場とし、建設技術の一種の高度化や、より広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術・新工法の積極的な活用促進や建設技術を通じての地域づくり、担い手確保の広帯を目的に開催するものです。

■「けんせつフェア北陸 in 富山2019」の概要 (詳細・交通案内は、別紙1-1～1-2参照)  
開催日：令和元年10月2日(水) 9時30分～17時00分  
3日(木) 9時00分～16時00分  
会場：富山産業展示館(テクノホール) 富山県富山市友杉1662番地  
主催：「けんせつフェア北陸 in 富山2019」実行委員会  
入場料：無料

●オープニングセレモニー  
日時：令和元年10月2日(水) 9時30分～9時50分  
会場：西館大展示場2階  
内容：主催者団体代表によるテープカット 等

主要イベント：●「グッド体験ICT」～ ICT特設展示  
屋外ICT展示場で、ICT活用工事の「3次元配工測量」▶「3次元データ作成」▶「ICT連携による施工」▶「3次元出来形管理」の流れを、グッドとみて、ふれて、知る(身体体験できる)展示を行います。

●展示技術プレゼンテーション  
展示技術をより多くの企業者に知って頂くために出展企業からのプレゼンテーションを行います。

●合同企業セミナー  
近隣の大学、高専、専門学校、工業系高校の学生を対象に、富山県内の建設関連企業による情報発信、将来の就職促進及び、企業と学生の情報のミスマッチ解消のため「合同企業セミナー」を実施します。

●建設技術報告会(同時開催) (詳しくは、別紙2参照)  
新たに研究開発された新技術、新工法等の技術報告会を開催します。  
10月2日(水)は、10:50から「JAXA」の基調講演「宇宙からのインフラ調査点検」を行います。

【同時発表記者クラブ】  
管内各県記者クラブ  
その他、専門紙

問い合わせ先  
「けんせつフェア北陸in富山2019」実行委員会事務局  
国土交通省 北陸地方整備局 企画部 施工企画課長 本間政幸  
TEL：026-280-8880(代表) (内線345)

**令和元年度 建設分野の新技術・新工法の報告会**  
**建設技術報告会**  
開催日 10月2日・3日  
会場 富山産業展示館(テクノホール) 東館大展示場

**けんせつフェア北陸 in 富山2019**

スケジュール(予定)  
10月2日(水) 10月3日(木)  
開会式 10:00～10:40 9:00～9:40  
基調講演 10:40～10:50 10:50～11:00  
10:50～11:00  
11時からインフラ調査点検 富山 富山 富山 富山 富山  
閉会式 11:00～11:20 11:00～11:20  
11:20～11:30 11:30～11:40  
11:40～11:50 11:50～12:00  
12:00～12:10 12:10～12:20

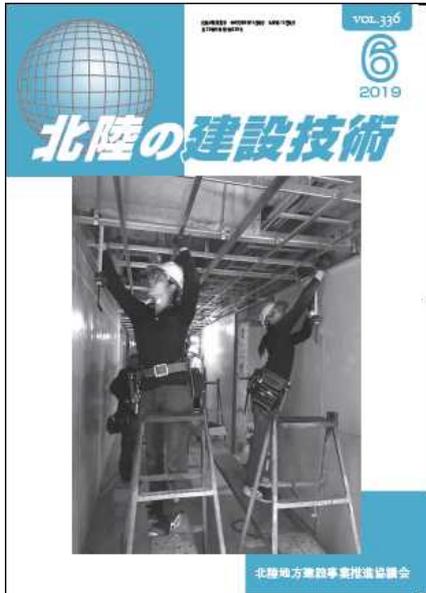
基調講演 富井直弥氏  
国土交通省副大臣、宇宙開発戦略推進委員会 第一中務官兼部門長 兼 建設技術部長  
「よい」 中命 富井直弥氏  
1989年、JAXAの宇宙飛行士候補生として入隊。2014年、JAXAの宇宙飛行士として宇宙飛行士として活躍。2017年、JAXAの宇宙飛行士として活躍。2018年、JAXAの宇宙飛行士として活躍。2019年、JAXAの宇宙飛行士として活躍。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>  
上記ホームページより「建設技術報告会」をダウンロードして下さい。

富山地方建設技術推進委員会 事務局 建設技術報告会 実行委員会  
【問い合わせ先】 富山地方建設技術推進委員会 事務局 建設技術報告会 実行委員会  
〒920-8501 富山県富山市友杉1662番地 富山産業展示館(テクノホール) 東館大展示場  
TEL 026-280-1001 FAX 026-280-1002 E-mail hokugi@hrr.mlit.go.jp

■定期刊行誌 掲載事例

◆北陸の建設技術(6月号)報告技術募集のお知らせ



**令和元年度 建設分野の新技術・新工法の報告会**  
**建設技術報告会**  
開催日 10月2日・3日  
会場 富山産業展示館(テクノホール) 東館大展示場

**報告技術募集**

申し込み期 6月17日(月)～  
令和元年7月9日(火)

同時開催 けんせつフェア北陸 in 富山2019

募集要項  
富山地方建設技術推進委員会 事務局 建設技術報告会 実行委員会  
【問い合わせ先】 富山地方建設技術推進委員会 事務局 建設技術報告会 実行委員会  
〒920-8501 富山県富山市友杉1662番地 富山産業展示館(テクノホール) 東館大展示場  
TEL 026-280-1001 FAX 026-280-1002 E-mail hokugi@hrr.mlit.go.jp



## 5. 同時開催イベント

イベント名称	けんせつフェア北陸 in 富山 2019
開催日時	令和元年10月2日(水) 10時～17時 / 10月3日(木) 9時～16時
会場	富山産業展示館(テクノホール) 西館大展示場・屋外駐車場
出展規模	355技術/151社・団体
来場者数	4,625名(2日間合計)

### ◆開催概要

#### 屋内・屋外展示

屋内展示は、出展者131社・団体が出展した。屋外展示は、20社・団体が出展し、そのうち13社・団体においてICT関連の特設展示を実施した。



#### 展示技術プレゼンテーション

2日間にわたり、47社・団体の出展者が展示技術を発表した。



#### 学校招待・合同企業セミナー

建設業の担い手確保を目的として、富山県内及び石川県の大学、高専、専門学校、高等学校から2日間で約780名の学生を招待した。招待した学生のうち、約340名が「合同企業セミナー」に参加した。



# 6. アンケート

次回以降の開催の参考とするため、聴講者を対象にアンケート調査を実施した。

## 1) 設問内容

アンケートのご提出は、お一人様1枚をお願いいたします。  
複数の部を聴講した場合、最終聴講した部終了後にご提出をお願いいたします。

### 「令和元年度建設技術報告会」アンケート

「令和元年度建設技術報告会」実行委員会事務局

**問1. あなたの自身についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。**

①職業  
 A 民間会社（建設関係） B 民間会社（コンサル関係） C 協会・団体（公益法人等）  
 D 自営業 E. 地方公共団体（県） F 地方公共団体（市町村） G 国土交通省  
 H その他（ ）

②住所  
 A 富山市内 B 富山市を除く富山県内（ ）  
 C 新潟県 D 石川県 E その他（ ）

**問2. 今回の建設技術報告会開催についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。**

①本報告会の開催を何で知りましたか？  
 A ホームページ B チラシ C その他  
 D 協会・団体からの案内 E 国土交通省・地方自治体からの案内  
 F その他（ ）

**問3. 今回の報告会の開催についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。**

①建設技術報告会は、次の5分野を核に報告を募集しています。最も関心のある分野はなんですか？  
 A 良いものを安く（i-Construction） 「生産性向上技術」、「コスト削減技術」、「省力化技術」等  
 B 社会資本の的確な維持管理・更新 「IoT」「AI」技術、「維持管理費削減や耐久性のある材料」等  
 C 豊に強い地域づくり 「災害対策技術」、「冬期道路交通の安全確保」等  
 D 自然災害からの安全確保 「土石流などからの防災技術」、「災害対策技術」等  
 E 環境の保全と創造 「リサイクル技術」、「省エネルギー技術」、「環境整備技術」等  
 F その他分野の希望があればご記入ください。  
 ( )

②報告技術の1題当たりの報告時間は？ A 長い B 適当 C 短い

③どの部講をしましたか？ 第1部 第2部 第3部 第4部

④最も印象に残ったプログラムの技術番号を3題までご記入ください。  
 1 ( - ) 2 ( - ) 3 ( - )

**問4. 今後の報告会の開催についてお尋ねします。あてはまるもの一つだけ○を付けてください。**

①報告会を今後も開催した方がよいですか？  
 A 続けた方がよい B 特に思わない  
 C 他行事と合同開催がよい（行事名： ）  
 D その他（ ）

②開催年について？ A 毎年開催がよい（従前） B 2年に1回でよい  
 C その他（ ）

③これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？  
 A これまでどおりでよい B 開催地を固定するのが良い（ 県）  
 C その他（ ）

④開催時期について？ A 4～6月 B 7～9月 C 10～12月 D その他（ ）

（裏面につづく）

(表面)

⑤基調講演について？  
 A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい  
 改善案

⑥基調講演で希望する内容はありますか？  
 講演内容

⑦技術パネル等展示コーナーについて？  
 A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい  
 改善案

⑧NETIS等パンフレット配布コーナーについて？  
 A 今後も続けてほしい B 特に必要ない C 改善してほしい  
 改善案

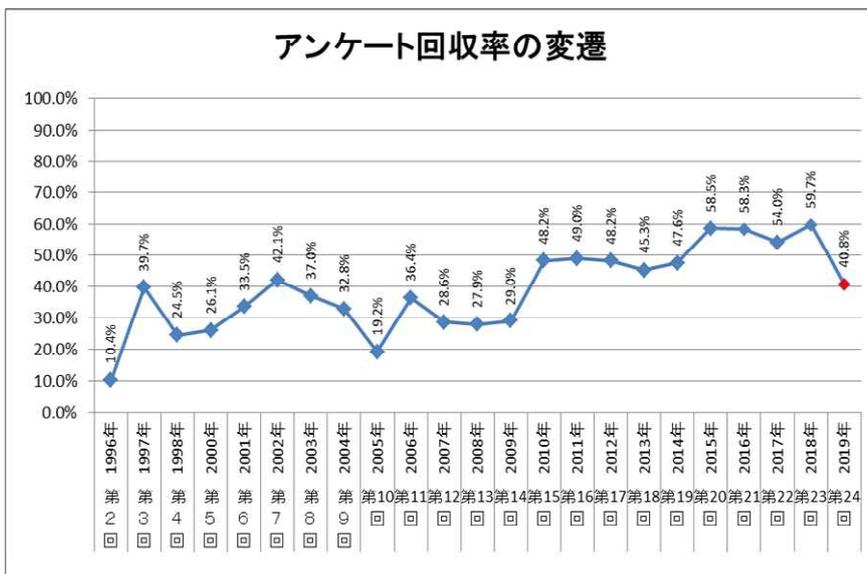
**問5. その他ご意見・要望がありましたらご記入ください。**

※ご協力ありがとうございました。この用紙は会場入口に設置していますアンケート回収箱に投函願います。なお、後日回答のご協力をいただける方は、次のFAX番号に送信して下さい。  
 〆切：10月18日（金） FAX：025-231-1283

(裏面)

## 2) 配布・回収

アンケートは受付時に聴講者に配布し、会場後方に設置した回収箱により回収を行った。アンケート回収率は約41%であった。



【アンケート配布・回収結果】

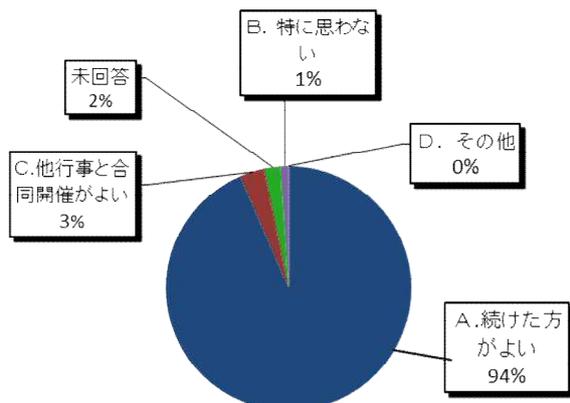
	官公庁	民間	計
配布数	144	332	476
回答数	63	131	194
回収率	44%	39%	40.8%
回答割合	32%	68%	100%

※発表者、報道、スタッフを除く

### 3) アンケート結果概要

#### ○今後の報告会の開催について

・9割以上が、「今後も継続した方がよい」と回答



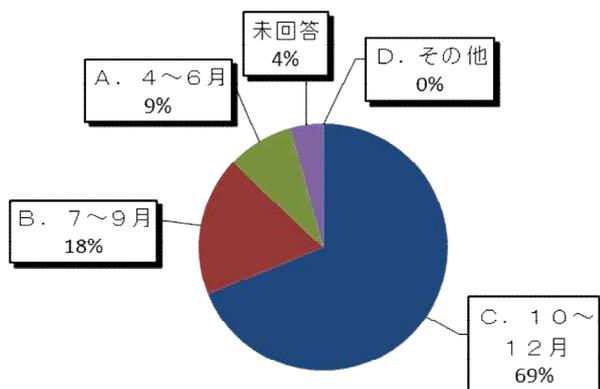
A. 続けた方がよい	181
B. 特に思わない	4
C. 他行事と合同開催がよい	4
D. その他	0
未回答	2
	191

#### その他

・けんせつフェアと同時

#### ○報告会の開催時期について

・7割以上が「10～12月」(今の時期)と回答



A. 4～6月	18
B. 7～9月	29
C. 10～12月	137
D. その他	2
未回答	4
	190

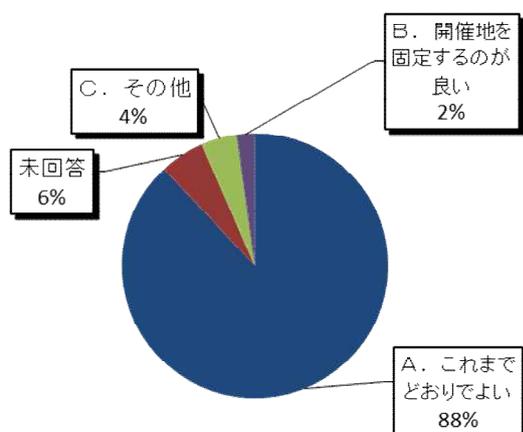
#### その他

・降雪がない時期で…

・7～12月

#### ○開催地について

・9割以上が「これまでどおりでよい」と回答



A. これまでどおりでよい	173
B. 開催地を固定するのが良い	5
C. その他	8
未回答	5
	191

#### Bの開催地

・石川(5) ・富山(4) ・新潟(5)

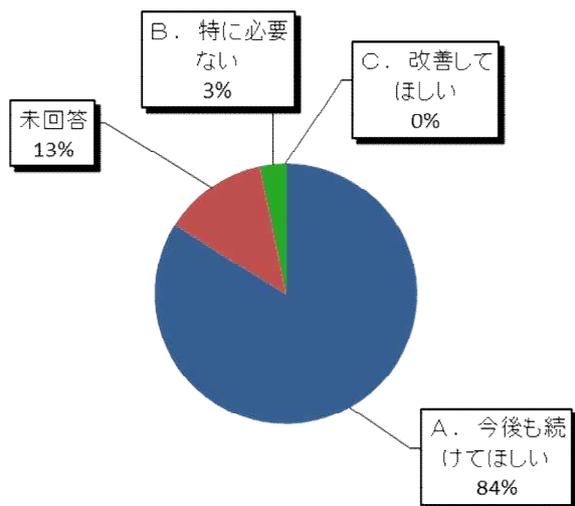
#### その他

・新潟→富山→石川を順次(7) ・各県毎年開催(1)

・今回の様に「けんせつフェア」と連携するなど効果的な運営が望ましい(1)

○基調講演について

・ 8割以上が「今後も続けて欲しい」と回答



A. 今後も続けてほしい	151
B. 特に必要ない	12
C. 改善してほしい	0
未回答	12
	175

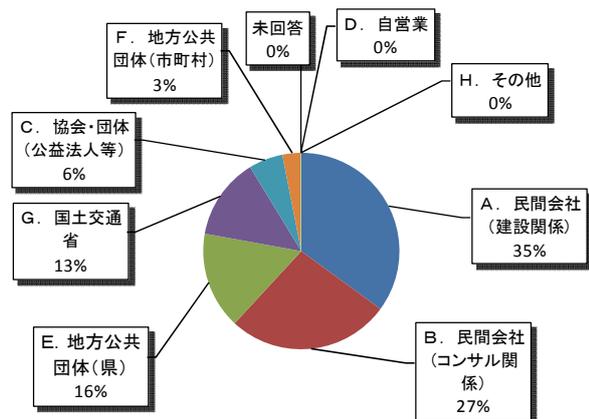
○この報告会全体で感じたことや意見等の自由意見（今後の課題等抜粋）

- ・ 建設技術報告会の会場が広く良かったが、パウポの図面が少し小さい様に感じた。
- ・ BIM/CIMを各社でどのように導入・実施しているのか、導入している中で何か課題があるのかといった技術報告の発表をして頂きたい。
- ・ 基調講演は必聴とする必要はないのでは？主催者としてホットな話題（テーマ）がある場合でよい
- ・ とても勉強になりました。官・学・民の様々な立場から発表と意見交換が出来れば、とても有意義な会になると思います。

## 4) 設問別集計結果

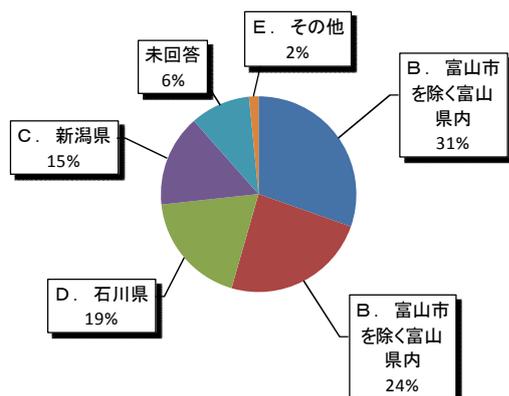
問1. あなた自身についてお尋ねします。

### ①職業



A. 民間会社(建設関係)	68
B. 民間会社(コンサル関係)	52
C. 協会・団体(公益法人等)	11
D. 自営業	0
E. 地方公共団体(県)	31
F. 地方公共団体(市町村)	6
G. 国土交通省	26
H. その他	0
未回答	0
	194

### ②住所



A. 富山市内	58
B. 富山市を除く富山県内	46
C. 新潟県	29
D. 石川県	36
E. その他	19
未回答	3
	191

#### 富山市を除く富山県内

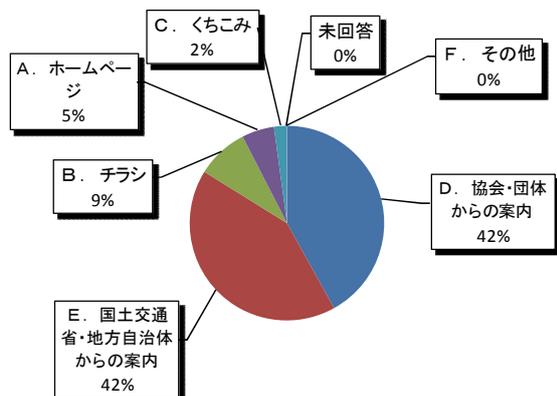
- ・射水市(6) ・魚津市(3) ・高岡市(3)
- ・砺波市(2) ・南砺市(1) ・黒部市(1)

#### その他

- ・東京(8) ・岐阜県(7) ・福島(2) ・愛知(1)
- ・神奈川(1)

問2. 今回の建設技術報告会来場についてお尋ねします。

### ①本報告会の開催を何で知りましたか？



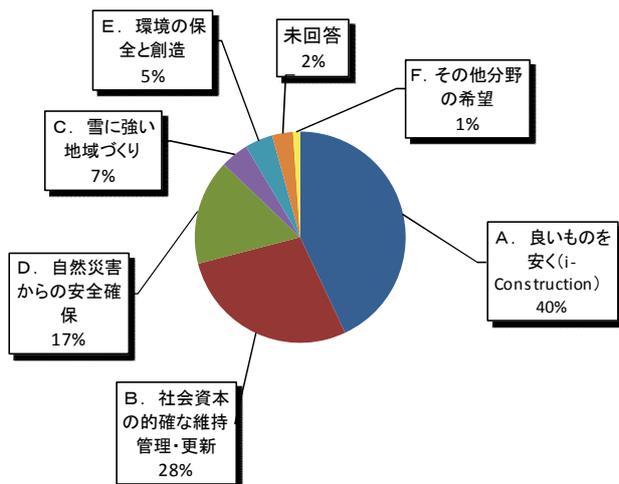
A. ホームページ	12
B. チラシ	15
C. くちこみ	6
D. 協会・団体からの案内	77
E. 国土交通省・地方自治体からの案内	78
F. その他	6
未回答	0
	194

#### その他

- ・自社からの案内(3) ・大学から(1)

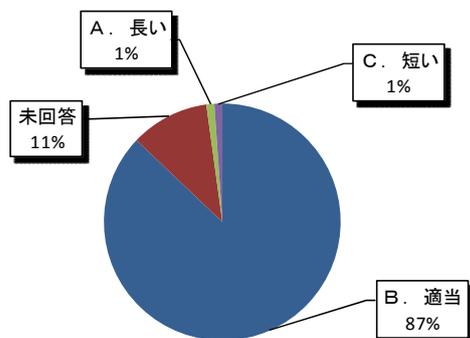
問3. 今回の報告会の開催についてお尋ねします。

①建設技術報告会は、次の5分野を核に報文を募集しています。最も関心のある分野はなんですか？



A. 良いものを安く(i-Construction)	86
B. 社会資本の的確な維持管理・更新	50
C. 雪に強い地域づくり	10
D. 自然災害からの安全確保	29
E. 環境の保全と創造	11
F. その他分野の希望	1
未回答	3
	190

②報告技術の1題当たりの報告時間は？



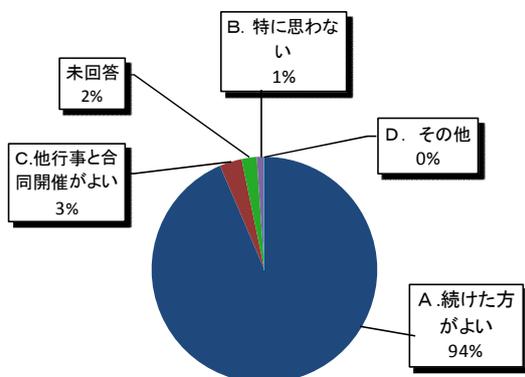
A. 長い	2
B. 適当	172
C. 短い	4
未回答	10
	188

意見

・B: 適当: 定められた時間で説明するのも技術

問4. 今後の報告会の開催についてお尋ねします。

①報告会を今後も開催した方がよいですか？

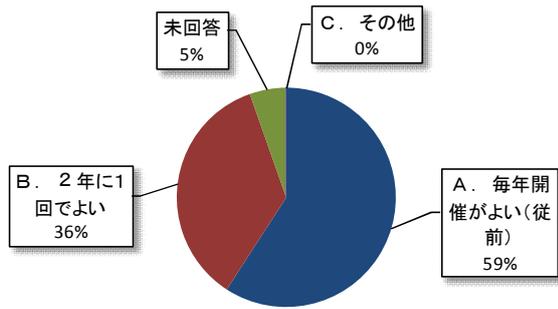


A. 続けた方がよい	181
B. 特に思わない	4
C. 他行事と合同開催がよい	4
D. その他	0
未回答	2
	191

その他

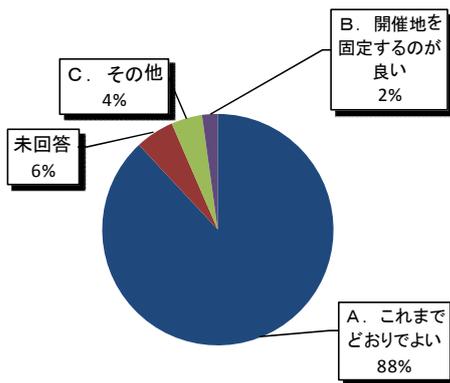
・けんせつフェアと同時

②開催年について



A. 毎年開催がよい(従前)	128
B. 2年に1回でよい	57
C. その他	0
未回答	5
	190

③これまで新潟→富山→新潟→石川の順で開催していますが、開催地についてご意見ありますか？



A. これまでどおりでよい	173
B. 開催地を固定するのが良い	5
C. その他	8
未回答	5
	191

Bの開催地

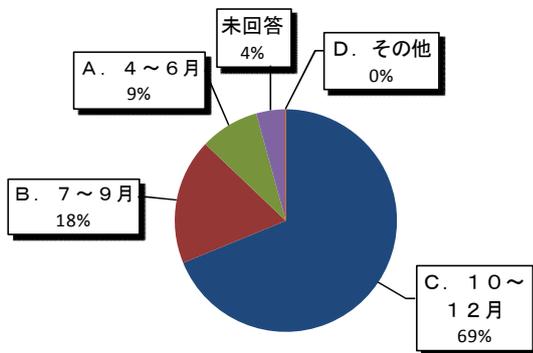
・石川(5) ・富山(4) ・新潟(5)

その他

・新潟→富山→石川を順次(7) ・各県毎年開催(1)

・今回の様に「けんせつフェア」と連携するなど効果的な運営が望ましい(1)

④開催時期について



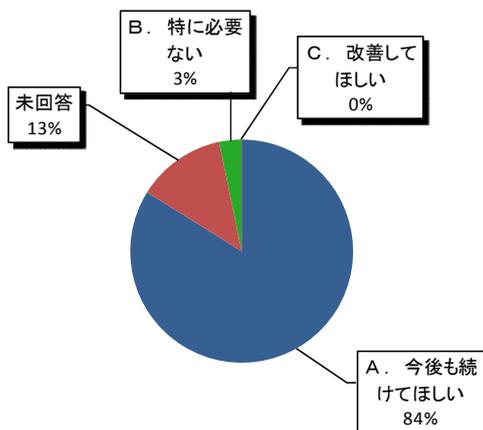
A. 4～6月	18
B. 7～9月	29
C. 10～12月	137
D. その他	2
未回答	4
	190

その他

・降雪がない時期で…

・7～12月

⑤基調講演について



A. 今後も続けてほしい	151
B. 特に必要ない	12
C. 改善してほしい	0
未回答	12
	175

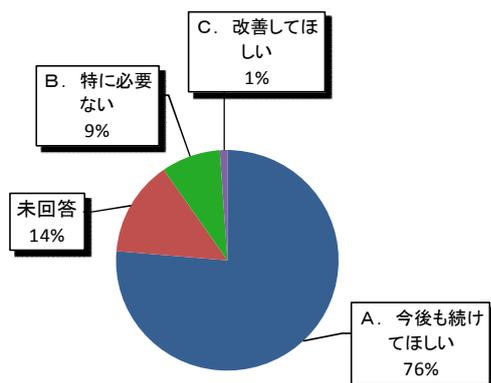
改善案

・必聴とする必要はないのでは？主催者としてホットな話題(テーマ)がある場合でよい

### ⑥基調講演で希望する内容はありますか？

- ・IoT 活用技術
- ・経済成長とインフラ整備のつながり
- ・i-Construction関係
- ・建設技術に関する最新の話
- ・土木研究所で進める i-Construction の研究について
- ・他分野の技術開発の動向
- ・環境に関する新技術の開発
- ・AIに関して
- ・5G活用方法
- ・環境対策
- ・自然災害関連講演
- ・自然災害からの安全確保
- ・国交省の動向について（建設業）
- ・町田建設（湯沢町）社長の『雪崩』の話
- ・ICT、環境関連
- ・働き方改革、ワークライフバランスについて
- ・防災、災害支援に関して
- ・新しい技術

### ⑦技術パネル等展示コーナーについて

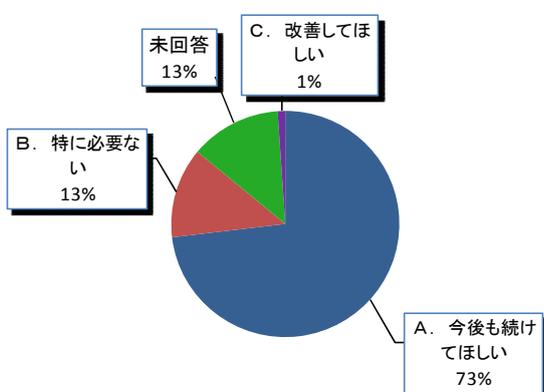


A. 今後も続けてほしい	146
B. 特に必要ない	13
C. 改善してほしい	4
未回答	13
	176

#### 改善案

- ・けんせつフェアと同時開催の際は展示なしで良いと思う。
- ・けんせつフェアに出展している会社は少ない。同時開催でないなら説明者をおく。
- ・けんせつフェアと別開催の場合は充実すると思う。
- ・コアタイムを設けてもいいかと。

### ⑧NETIS等パンフレット配布コーナーについて



A. 今後も続けてほしい	142
B. 特に必要ない	21
C. 改善してほしい	2
未回答	12
	177

#### 改善案

- ・具体的な見本があればいい
- ・⑦と同じ。必要部数を事前に知らせてほしい。
- ・ニーズとシーズのマッチングの取り組みをも提供してはどうか？（現場のニーズを拾うところが重要と配慮します）

## 問5. その他ご意見・要望がありましたらご記入ください。

### <基調講演関係>

- ・富井さんの講演は大変興味があり、良かったのですが図等が細かくて見づらかった。機会があればもう一度聞きたい。
- ・基調講演は専門に特化しない内容（理解しやすいように）がいいと思う。

### <技術報告関係>

- ・マイクの音声聞き取りづらかったです。映像音声も殆ど聞き取れなかったです。  
折角の貴重なお話を聞ける機会なので、設備の見直しをかなえたいと思います。
- ・会場が報告会に向いていない。（声の聞き取りが難しい。）
- ・建設技術報告会の会場が広く、伸び伸びとしていて良かった。その一方パウポの図面が少し小さい様に感じた。  
受講者の方々は割とスクリーンに近いので、さほど気にならないが、一般の方には文字が小さく見にくいように感じた。
- ・発表者のマイクの音声が大きすぎる。
- ・BIM/CIMを各社でどのように導入・実施しているのか（社内体制）、また、実施している中で何が課題があるのかといった技術報告の発表をして頂きたい。
- ・スクリーンの大きさをもう少し大きく。映像が細かくて見づらい。
- ・思っていた以上の参加者であった。聴講者に資料が届かなかった事は残念であった。1～4部まであるなら各部の始まる前に資料を置いて頂きたい。
- ・コマツのシミュレーションがよかったです。
- ・とても勉強になりました。官・学・民の様々な立場から発表と意見交換が出来れば、とても有意義な会になると思います。

### <その他>

- ・昼食が場外に行かないとならず大変であった。
- ・冷房が効きすぎて寒い。
- ・会場の冷房が効きすぎて寒かったです。のどが痛いので風邪を引いたかもしれません。
- ・報告会に参加していると、展示や屋外実演を回る時間がとれない。
- ・報告会は部屋でやってほしい。展示ホールなどだと色々不便。